第1号様式

**幼保連携型認定こども園設置認可申請書
(届出書)**

令和6年9月12日

三重県知事 様

設置者

住 所 亀山市住山町590番地1
氏名又は名称 社会福祉法人安全福祉会
(設置者が法人にあっては、その
代表者の氏名) 理事長 小 倉 昌 行

就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第17条第1項(第16条)の規定により、関係書類を添えて幼保連携型認定こども園の設置の認可を申請します。(を届け出ます。)

施設の名称	幼保連携型認定こども園あんぜんの丘こども園		
施設の所在地	亀山市田茂町地内		
設置者	社会福祉法人 安全福祉会	経営者	理事長 小倉昌行
認定こども園の名称	幼保連携型認定こども園あんぜんの丘こども園		
認定こども園の長となるべき者の氏名	園長 古田 秀 樹		
認可希望(届出)年月日	令和7年4月1日		
事業開始予定年月日	令和7年4月1日		

区分	合計	左の年齢別内訳								
		3歳未満児				3歳児 (うち満 3歳児)	4歳以上児			
		0歳	1歳	2歳	小計		4歳	5歳	小計	
認可希望(届出) 定員(人)	1号認定の 子ども	/				2 ()	5	5	12	
	2号及び3号 認定の子ども	66	3	9	12	24	16	13	13	42
学級数		3	/				1	1	1	3
利用定員(人)	1号認定の 子ども	/				12				
	2号及び3号 認定の子ども	66	3	21		24	42			
幼保連携型認定こども園の設置目的		地域のニーズに的確に答え、定員を増加することにより待機児童の解消を図る。								
教育及び保育の目標及び主な内容		<p>教育及び保育の目標及び理念 自然とふれあい、学び育つ、こども園を目指して明るく、正しく、元気な子を育てる。</p> <p>教育及び保育のねらい及び内容の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家庭的な雰囲気づくり 安心して楽しくのびのび活動できるよう努める。 2. 自然とのふれあいを深める 自然への関心を深め、豊かな感性を育てる。 3. 基本的な生活習慣を身に付ける 健康的な体づくりと感謝の心、聞く、話す態度を育てる。 4. 家庭・地域との連携 家庭・地域と園との相互理解を深める。 								

設 備 及 び 構 造	建物構造	木造	造り	1	階建て	建築年度	2024	年
	建物延面積	862.79	m ²	建物建築面積	894.56	m ²		
	敷地面積	6,565	m ²	(自己所有6,565m ² 、借用 m ²)				
	区 分	数 量	面積 (m ²)	区 分	数 量	備 考		
	乳児室	1	45.55	飲料水用設備				
	ほふく室	1	(乳児室に含む)	手洗用設備	9			
	保育室	4	190.81	足洗用設備	2			
	遊戯室	1	156.51	非常警報設備	1			
	調理室	1	50.51	消火設備				
	調乳室	1	4.14	放送聴取設備	1			
	沐浴室	1	7.45	映写設備				
	保健室	1	9.37	水遊び場				
	事務室	0		園児清浄用設備	1			
	休憩室	1	6.38					
	職員室	1	38.92					
	図書室	0						
	会議室	0						
	倉庫	8	67.86					
便所	8	57.40						
廊下・階段	1	100.10						
その他	1	127.79						
合計		862.79						
園庭	1	410.00						
備 品 等	屋 内 備 品 等							
	品 名	数 量	品 名	数 量				
	園児用椅子	96	ベビーベッド	2				
	園児用机	24	タオルハンガー	5				
	色紙整理棚	1	布団収納庫	3				
	画用紙整理棚	1	電子ピアノ	2				
	屋 外 備 品 等							
	品 名	数 量	品 名	数 量				
	山形雲梯	1	砂場ラック	1				
	低鉄棒	1	砂場ラック用コンテナ	3				
	鉄製総合遊具	1						
	組立式倉庫	1						

〔記載要領〕

1 認可（届出）希望定員

「1号認定の子ども」には満3歳以上で、幼稚園等での教育を希望する子どもの数（子ども・子育て支援法第19条第1号）を、「2号及び3号認定の子ども」には保育に必要な事由に該当し、保育所等での保育を希望する子どもの数（子ども・子育て支援法第19条第2号及び第3号）を記載すること。満3歳児については、（ ）に内数にて記載。

2 利用定員

「1号認定の子ども」には満3歳以上で、幼稚園等での教育を希望する子どもの数（子ども・子育て支援法第19条第1号）を、「2号及び3号認定の子ども」には保育に必要な事由に該当し、保育所等での保育を希望する子どもの数（子ども・子育て支援法第19条第2号及び第3号）を記載すること。

3 認定こども園の認可を受けたい具体的理由

できる限り詳しく記載すること。この欄に書き切れない場合は、別紙に記載してもよい。

4 教育及び保育の目標及び理念

できる限り詳しく記載すること。この欄に書き切れない場合は、別紙に記載してもよい。

5 教育及び保育のねらい及び内容の概要

できる限り詳しく記載すること。この欄に書き切れない場合は、別紙に記載してもよい。

6 用紙の大きさ（以下の様式において同じ。）

日本工業規格A列4番とすること。

7 その他

記載事項が多いため、この様式によることができないときは、適宜用紙（大きさは、日本工業規格A列4番とする。）の枚数を増加し、この様式に準じた申請書を作成すること。

認可基準調書

(別添第1号)

- 1 幼保連携型認定こども園の名称 **あんぜんの丘こども園**
 2 幼保連携型認定こども園の所在地 **三重県亀山市田茂町地内**
 3 認可定員 (人)

	計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
1号認定の子ども	12				2	5	5
2号及び3号認定の子ども	66	3	9	12	16	13	13

4 建物の状況

(1)建物(構造別 木造 (1)階建、建築年度 令和6年度)

(2)設備

室名	保有面積	認可基準面積		適否	備品等
		学級数	面積		
①園舎 (建物延面積)	862.79 m ²	学級数	面積	保有面積≥認定基準面積 適	教育・保育に必要な用具を記入 園児用椅子・机
		1学級	180 m ²		
		2学級以上	320+100×(学級数-2) m ²		
		学級数(3クラス) = 420 m ² ①			
		① +②+③+④A = 478.41 m ²			
②乳児室	45.55 m ² (ほふく室含む)	1. 65 m ² ×2歳未満児(ほふくしない子ども)定員数(3名) = 4.95 m ² ② 注1	保有面積≥認定基準面積 適	保育に必要な用具を記入 ベビーベッド、布団収納庫	
③ほふく室	m ²	3. 3 m ² ×2歳未満児(ほふくする子ども)定員数(9名) = 29.7 m ² ③ 注2	保有面積≥認定基準面積 適	保育に必要な用具を記入 ベビーベッド	
④保育室 (3歳未満児) (3歳以上児) 遊戯室	41.41 m ² 149.40 m ² 156.51 m ²	1. 98 m ² ×(2歳以上児～3歳未満の子ども)定員数(12名) =23.76 m ² ④A 1. 98 m ² ×3歳以上児定員数(54名) =106.92 m ² ④B ④A+④B=130.68 m ²	保有面積≥認定基準面積 適	教育・保育に必要な用具を記入 園児用椅子・机 タオルハンガー 電子ピアノ 色紙整理棚 画用紙整理棚	
小計	347.32 m ²				

注1 認可申請時はほふくしない子どもの数は0歳児の認可定員数。

注2 認可申請時はほふくする子どもの数は1歳児の認可定員数。

調理室	50.51 m ²	(厨房+下処理室+前室)	耐火構造の床 甲種防火戸 医療器具、医薬品 包装材料
調乳室	4.14 m ²		
沐浴室	7.45 m ²		
保健室	9.37 m ²		
湯沸室	3.73 m ²		
休憩室	6.38 m ²		
職員室	38.92 m ²		
相談室	m ²		
ホール	20.72 m ²	玄関ホール	
倉庫	67.86 m ²	収納含む	
便所	57.40 m ²	HWC、厨房、来客用、職員便所含む	
	(大 個)16 (小 個)10 (乳 個)2	大1、小1	
廊下・階段 その他	100.10 m ² 103.34 m ²		
※調理室～その他については、各室とも全体の面積を記入すること。			
合計 ※1	862.79 m ²		

※1 合計については、建物全体の面積を記載すること。

5 土地の状況

(1)所有形態

(ア)自己所有	(イ)賃借権(期間 年)	(ウ)地上権設定 (期間 年間)	その他() (エ) (期間 年間)

(2)面積

敷地面積	6,565 m ²	学級数	面積	滑台 1台
		2学級以下	330+30×(学級数-1) m ²	
敷地面積	6,565 m ²	3学級以上	400+80×(学級数-3) m ²	
建築面積	862.79 m ²	学級数(3クラス)=400 m ² C = 178.2 m ² C' 3. 3 m ² ×3歳以上見定員数(54名) = m ² 39.6 D C'+D=217.8 m ² E(園庭基準面積)		ブランコ 1台
園庭 ※2※3 その他	410 m ² m ²	CとC'のどちらか大きい数=400 m ² C'' 3. 3 m ² ×2歳以上児3歳未満見定員数(12名) = m ² 39.6 D C''+D=217.8 m ² E(園庭基準面積)		砂場 1カ所 () m ²

※2 既存施設(幼稚園)からの移行の場合、園庭はC+Dの面積以上であればよい。

※3 既存施設(保育所)からの移行の場合、園庭はC'+Dの面積以上であればよい。

6 職員数

認定こども園の長	氏名	年齢	現職	法施行規則第12条各号(第1号～第16号)に記載の経験年数※4	保有資格(○で囲む)
	古田秀樹	62	園長	第 号 年 第 号 年	保育士 幼稚園教諭
備考※5	園長研修受講予定				

※4 法施行規則第12条各号に記載の経験年数がわかる資料を添付すること。

※5 法施行規則第13条にて園長を任用する場合、法施行規則第12条各号に規定する資格を有する者と同等の資格を有すると認められる根拠等を記載すること(法施行規則第12条の基準を満たさない場合は必ず記載すること)。法施行規則第13条に規定する法施行規則第12条各号に規定する資格を有する者と同等の資格を有すると認められる者とは、園長研修を受講した者若しくは園長研修を受講する予定の者を指す。

	認可定員			学級数 (クラス)	教育及び保育に 直接従事する者	職員数	
	計	1号認定の子ども	2号及び3号認定の子ども			定数	現員
認定こども園の長						1	1
従事する者	0歳児	3	3	1	5	1	2
	1歳児	9	9	4			2
	2歳児	12	12	1			3
	3歳児	18	2	16	1	1	1
	4歳児	18	5	13	1	2	1
	5歳児	18	5	13	1		1
	小計	78	12	66	3	8	8
調理員等	調理員					1	1
	その他					1	1
計					11	13	
嘱託医					1	1	

※保育に従事する者の算定

$$\begin{aligned} \text{必要配置数} &= (0歳児 \times 1/3) + \{(1歳児 + 2歳児) \times 1/6\} + (3歳児 \times 1/20) \\ &\quad + \{(4歳及び5歳児) \times 1/30\} \\ &\quad \dots \text{各小数点第2位以下切り捨て} \\ &= \dots \text{小数点以下四捨五入} \end{aligned}$$

「1号認定の子ども」= 共通の利用時間のみの利用を行う子ども

「2号及び3号認定の子ども」= 「1号認定の子ども」以外の子ども

※保育に従事する者及び調理員等の現員職員数は、常勤換算職員数を記入すること。

例 短時間勤務の保育に従事する者及び常勤の保育に従事する者の1か月の勤務時間数の合計

／ 各認定こども園の就業規則等で定めた常勤の保育に従事する者の1か月の勤務時間数

$$= \text{常勤換算値(小数点第1位を四捨五入)}$$

(注) 上記により難しいものは必要に応じ資料を添付すること。

別紙1

市町名	亀山市
-----	-----

設置に関する市町の意見 (幼保連携型認定こども園の設置を要する理由と市町計画との関連)
(市町子ども・子育て支援事業計画への反映状況等、量の見込みと確保の観点から記入してください)
今回の民間保育所(亀山市第三愛護園)の幼保連携型認定こども園への移行においては、定員規模は2、3号認定を中心に配分しているため、子ども・子育て支援事業計画における2、3号認定の確保の内容は増加し、増加傾向にある量の見込みに対応できるものとなっている。
こうした状況から、亀山市第三愛護園の幼保連携型認定こども園への移行については、特段の問題は無いものと考えている。
なお、子ども・子育て支援事業計画の量の見込みと確保の内容の欄において、認定こども園の設置数の欄を設けているが、現計画については令和6年度を最終年度とし、現在次期計画の策定段階となっているため、現計画の見直しは行わず、次期計画の策定において整理するものとする。

新設・移行の別	
☐ 新設 ☒ 既存施設あり (幼稚園 ・ 保育所等)	
移行の場合の既存施設	
施設名	既存施設の定員(人)
亀山市第三愛護園	45
設置者又は系列法人の設置するその他の施設	
特別養護老人ホーム安全の里 養護老人ホーム清和の里 亀山第1地域包括支援センター ぼたん 亀山第2地域包括支援センター もくれん 訪問介護ステーション ひなた	

第1号様式

幼保連携型認定こども園設置認可申請書
(届出書)

令和6年 9月 26日

三重県知事 様

設置者
住 所 三重県亀山市みずきが丘 81
氏名又は名称 学校法人古市学園
理事長 古市嘉郁

就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第17条第1項(第16条)の規定により、関係書類を添えて幼保連携型認定こども園の設置の認可を申請します。(を届け出ます。)

施設の名称	学校法人古市学園 みずきが丘道伯幼稚園		
施設の所在地	三重県亀山市みずきが丘 81		
設置者	古市嘉郁	経営者	古市嘉郁
認定こども園の名称	みずきが丘道伯幼稚園		
認定こども園の長となるべき者の氏名	井上千春		
認可希望(届出)年月日	令和7年 4月 1日		
事業開始予定年月日	令和7年 4月 1日		

区分	合計	左の年齢別内訳							
		3歳未満児				3歳児 (うち満 3歳児)	4歳以上児		
		0歳	1歳	2歳	小計		4歳	5歳	小計
認可希望(届出) 定員(人)	1号認定の 子ども	192				82 (20)	57	53	192
	2号及び3号 認定の子 ども	3	5	10	18	15	20	25	60
学級数						6	4	4	14
利用定 員(人)	1号認定の 子ども	192				192			
	2号及び3号 認定の子 ども	3	5	10		60			
幼保連携型認定こ ども園の設置目的		就労する保護者や、家庭だけで子どもを養育できない保護者 が増えているため、未就学児の受け入れを増やすため							
教育及び保育の目 標及び理念		集団生活を行う中で、知徳体の三本の教育理念 を身につける。 就学に向けて、また将来の社会生活に向けて、 人として身につける事、一生懸命頑張る事を学 んで欲しい							
教育及び保育の目 標及び主な内容		日々の保育の中で、 一人一人の成長に寄り添う 少しずつ成功体験を積み重ねる 一生懸命頑張ることを学ぶ 園生活が楽しいと感じる 友人関係を築く 人としてやっていい事、悪い事の判断を身につ ける							

設 備 及 び 構 造	建物構造	鉄骨	造り	2	階建て	建築年度	平成10	年
	建物延面積	2090.37	m ²	建物建築面積	1311.05	m ²		
	敷地面積	4000.00	m ²	(自己所有 4000.00 m ² 、借用 0m ²)				
	区 分	数 量	面積(m ²)	区 分	数 量	備 考		
	乳児室	1	34.0	飲料水用設備	2			
	ほふく室	1	79.8	手洗用設備	12			
	保育室	14	828.3	足洗用設備	1			
	遊戯室	1	393.1	非常警報設備	1			
	調理室・前室	1	46.3	消火設備	1			
	調乳室	1	6.6	放送聴取設備	1			
	沐浴室・前室	1	11.3	映写設備	1			
	保健室(職員室内)	1	5.0	水遊び場	1	仮設プール		
	相談室(事務室)	1	12.8	園児清浄用設備	1			
	給湯室(休憩室)	1	8.1					
	職員室	1	46.5					
	図書室(廊下にあり)	2	5.0(2.5×2)					
	会議室	1	34.3					
	倉庫	2	126.5					
	便所	6	60.3					
	廊下・階段		380.2(図書室5.0除く)					
その他		12.27						
合計		2090.37						
園庭	1	1350.0						
備 品 等	屋 内 備 品 等							
	品 名	数 量	品 名	数 量				
	机	259	マット	12				
	椅子	504	平均台	5				
	ピアノ	15	折りたたみ鉄棒	6				
	跳び箱	6						
	屋 外 備 品 等							
	品 名	数 量	品 名	数 量				
	複合遊具	5	その他遊具	8				
	ブランコ	1						
	鉄棒	2						
	滑り台	4						

〔記載要領〕

1 認可(届出)希望定員

「1号認定の子ども」には満3歳以上で、幼稚園等での教育を希望する子どもの数(子ども・子育て支援法第19条第1号)を、「2号及び3号認定の子ども」には保育に必要な事由に該当し、保育所等での保育を希望する子どもの数(子ども・子育て支援法第19条第2号及び第3号)を記載すること。満3歳児については、()に内数にて記載。

2 利用定員

「1号認定の子ども」には満3歳以上で、幼稚園等での教育を希望する子どもの数(子ども・子育て支援法第19条第1号)を、「2号及び3号認定の子ども」には保育に必要な事由に該当し、保育所等での保育を希望する子どもの数(子ども・子育て支援法第19条第2号及び第3号)を記載すること。

3 認定こども園の認可を受けたい具体的理由

できる限り詳しく記載すること。この欄に書き切れない場合は、別紙に記載してもよい。

4 教育及び保育の目標及び理念

できる限り詳しく記載すること。この欄に書き切れない場合は、別紙に記載してもよい。

5 教育及び保育のねらい及び内容の概要

できる限り詳しく記載すること。この欄に書き切れない場合は、別紙に記載してもよい。

6 用紙の大きさ(以下の様式において同じ。)

日本工業規格A列4番とすること。

7 その他

記載事項が多いため、この様式によることができないときは、適宜用紙(大きさは、日本工業規格A列4番とする。)の枚数を増加し、この様式に準じた申請書を作成すること。

6 職員数

認定こども園の長	氏名	年齢	現職	法施行規則第12条各号(第1号～第16号)に記載の経験年数※4	保有資格(○で囲む)
	井上千春	56	園長	第1号 36年	保育士 幼稚園教諭
備考※5					

※4 法施行規則第12条各号に記載の経験年数がわかる資料を添付すること。

※5 法施行規則第13条にて園長を任用する場合、法施行規則第12条各号に規定する資格を有する者と同等の資格を有すると認められる根拠等を記載すること(法施行規則第12条の基準を満たさない場合は必ず記載すること)。法施行規則第13条に規定する法施行規則第12条各号に規定する資格を有する者と同等の資格を有すると認められる者とは、園長研修を受講した者若しくは園長研修を受講する予定の者を指す。

	認可定員			学級数 (クラス)	教育及び保育に 直接従事する者	職員数		
	計	1号認定の子ども (満3歳児)	2号及び3号認定の子ども			定数	現員	
認定こども園の長						1	1	
従事する者	0歳児	3	/	3	/	1	2	
	1歳児	5		5		5.8	2	
	2歳児	10		10		(満3歳児含む)	6	
	3歳児	97	82(20)	15	6	3.8	4	4
	4歳児	77	57	20	4	5.1	3	3
	5歳児	78	53	25	4		3	3
	小計	270	192	78	14	15.7	18	21
調理員等	調理員						4	4
	その他							
計						22	25	
嘱託医						2	2	

※保育に従事する者の算定

$$\begin{aligned} \text{必要配置数} &= (0歳児 \times 1/3) + \{(1歳児 + 2歳児) \times 1/6\} + (3歳児 \times 1/20) \\ &\quad + \{(4歳及び5歳児) \times 1/30\} \quad \dots \text{各小数点第2位以下切り捨て} \\ &= \dots \text{小数点以下四捨五入} \end{aligned}$$

「1号認定の子ども」= 共通の利用時間のみの利用を行う子ども

「2号及び3号認定の子ども」= 「1号認定の子ども」以外の子ども

※保育に従事する者及び調理員等の現員職員数は、常勤換算職員数を記入すること。

例 短時間勤務の保育に従事する者及び常勤の保育に従事する者の1か月の勤務時間数の合計

／ 各認定こども園の就業規則等で定めた常勤の保育に従事する者の1か月の勤務時間数

$$= \text{常勤換算値(小数点第1位を四捨五入)}$$

(注) 上記により難しいものは必要に応じ資料を添付すること。

別紙1

市町名	亀山市
-----	-----

設置に関する市町の意見

(幼保連携型認定こども園の設置を要する理由と市町計画との関連)

(市町子ども・子育て支援事業計画への反映状況等、量の見込みと確保の観点から記入してください)

今回のみずきが丘道伯幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行においては、幼稚園からこども園への移行であるため1号認定の確保数は減るが、2、3号認定の確保数は増加する。そのため、子ども・子育て支援事業計画における2、3号認定の確保の内容は増加し、増加傾向にある量の見込みに対応できるものとなっている。また1号認定については、計画における量の見込みは減少傾向にあり、必要利用数に対して量の確保はできている状態である。

こうした状況から、みずきが丘道伯幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行については、特段の問題は無いものとする。

なお、子ども・子育て支援事業計画の量の見込みと確保の内容の欄において、認定こども園の設置数の欄を設けているが、現計画については令和6年度を最終年度とし、現在次期計画の策定段階となっているため、現計画の見直しは行わず、次期計画の策定において整理するものとする。

新設・移行の別

新設 既存施設あり (幼稚園 ・ 保育所等)

移行の場合の既存施設

施設名	既存施設の定員(人)
学校法人古市学園 みずきが丘道伯幼稚園	360

設置者又は系列法人の設置するその他の施設

学校法人古市学園 道伯幼稚園